2024　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法評価学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室 機能訓練室
担 当 教 員	専任教員(オムニバス)	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場にて、様々な障害に対する理学療法評価を実施していた		

《授業科目における学習内容》

理学療法評価のうち、機能的評価から活動制限に対する評価項目について、全体的な位置づけと各種方法の実際を学んでいく。

《成績評価の方法と基準》

《使用教材(教科書)及び参考図書》

理学療法評価法　第3版　　九州神陵文庫
配布資料

《授業外における学習方法》

より理解を深めるための事前学習を行い、また演習後は学生同士で検査備品を実際に用いて復習をする。

《履修に当たっての留意点》

「評価に始まり評価に終わる」と言われるくらいこの評価学は重要です。一つ一つの検査をイメージし学生同士で体得していきましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。	指定テキスト	事前学習(20分) シラバスを読む 事後学習(40分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法評価学概要を知る　担当:可成		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :評価の進め方・流れ 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法評価学概要を知る　担当:可成		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋緊張 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	筋緊張検査について知る　担当:土居		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋緊張 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	筋緊張検査の実際ができる　担当:土居		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :反射 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	反射について知る(腱反射)　担当:山本		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :反射 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	反射検査の実際ができる(腱反射)　担当:山本		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :反射 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	反射について知る(病的・姿勢反射)　担当:山本		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :反射 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	反射検査の実際ができる(病的・姿勢反射)　担当:山本		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :感覚 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	感覚について知る　担当:森下		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :感覚 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	感覚検査の実際ができる　担当:森下		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :片麻痺機能検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	片麻痺機能検査について知る　担当:土居		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :片麻痺機能検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	片麻痺機能検査の実際ができる　担当:土居		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :協調性 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	協調性について知る　担当:土居		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :疼痛検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	協調性検査の実際ができる　担当:土居		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :高次脳検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	高次脳機能・精神・知的検査について知る　担当:森下		

2024　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法評価学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室　機能訓練室
担 当 教 員	専任教員(オムニバス)	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場にて、様々な障害に対する理学療法評価を実施していた		

《授業科目における学習内容》

理学療法評価のうち、機能的評価から活動制限に対する評価項目について、全体的な位置づけと各種方法の実際を学んでいく。

《成績評価の方法と基準》

《使用教材(教科書)及び参考図書》

理学療法評価法　第3版　　九州神陵文庫
配布資料

《授業外における学習方法》

より理解を深めるための事前学習を行い、また演習後は学生同士で検査備品を実際に用いて復習をする。

《履修に当たっての留意点》

「評価に始まり評価に終わる」と言われるくらいこの評価学は重要です。一つ一つの検査をイメージし学生同士で体得していきましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :高次脳検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	高次脳機能・精神・知的検査の実際ができる　担当:森下		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :バランス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	バランス検査の実際を知る　担当:森下		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :バランス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	バランス検査の実際が行える　担当:森下		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :姿勢観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	姿勢観察の実際を知る　担当:山口		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :姿勢観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	姿勢観察の実際が行える　担当:山口		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :姿勢観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	姿勢観察の実際を知る　担当:山口		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :姿勢観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	姿勢観察の実際が行える　担当:山口		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :動作観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	動作観察を知る　担当:可成		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :動作観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	動作観察が行える　担当:可成		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :動作観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	動作観察を知る　担当:可成		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :動作観察 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	動作観察が行える　担当:可成		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :中枢神経疾患 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	動作観察を知る②(中枢神経疾患)　担当:臨床セラピスト		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :中枢神経疾患 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	動作観察が行える②(中枢神経疾患)　担当:臨床セラピスト		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	① 正確な評価方法に関する知識と技術を身につける。 ② 神経学的検査を覚えることでより臨床像が見えるようになる。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :筋緊張・反射・感覚 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	全実技の振り返り　担当:山本		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①-②について振り返り、理解と説明ができる	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :疼痛・協調性・バランス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	全実技の振り返り　まとめ　振り返り　担当:山本		